

2023年7月6日

日立造船グループ（Hitachi Zosen Inova）が 英国でごみ焼却発電プラントの長期運營業務を2件受注

日立造船株式会社の100%子会社で、ごみ焼却発電プラントの設計、建設、保守などを手がけるHitachi Zosen Inova AG（スイス、以下、HZI）は、このほど、英国において2件のごみ焼却発電プラントの運營業務を受注しました。契約期間は、いずれもプラント完成後25年間となります。

1件目は、HZIが英国の電力およびガス事業を行う大手エネルギー会社SSE plcグループからバークシャー州スラウでの建設工事を2020年に受注し、2024年に完成予定のごみ焼却発電プラント（ストーカ式焼却炉、ごみ処理能力：480,000 t/年、発電出力：49.9MW）です。

2件目は、英国スコットランドを中心に再生可能エネルギー事業を展開するBrockwell Energy Ltd（以下、Brockwell）グループがスコットランド・グランジマウスで進めているごみ焼却発電事業で、2023年末に完成が予定されているプラント（ストーカ式焼却炉、処理量：216,000 t/年、発電出力：22MW）です。

HZIは、上記のプロジェクトとは別に、Brockwellからスコットランド・ファイフ州キングラッシーでのごみ焼却発電プラント（ストーカ式焼却炉、ごみ処理能力：240,000 t/年、発電出力：23MW以上）の設計・建設および完成後25年間の運營業務を2021年に受注しており、今回の2件の受注によって、HZIが英国で運営を予定するごみ焼却発電プラントは3件となります。

HZIはこれまで、大型のごみ焼却発電プラントの設計・調達・建設を中心に事業展開してきましたが、近年は長期運営やメンテナンスなどの継続的事業やバイオガス事業にも注力し、持続的成長に向けた事業構造改革に取り組んできました。ごみ焼却発電が普及している英国に加えて、新たな市場である中東、オーストラリアなど、HZIの長期運營業務の受注件数は合計7件となります。

日立造船は、ごみ焼却発電プラントのメンテナンス・長期運営分野において、現在約130施設に対するメンテナンス業務や7施設での運転業務、30施設以上の長期運營業務を請け負うなど、数多くの実績を有していますが、効率的な運転や発電効率の向上を実現するAI・ICT技術、ノウハウを共有し、HZIを始めとする海外市場でのメンテナンス・長期運営事業の強化に取り組んでまいります。

なお、本件の概要は以下のとおりです。

1. SSE plcグループ向け

- (1) 発注者：SSE Slough Multifuel Limited（SSE plcによる特別目的会社）
- (2) 最終需要家：SSE plcグループ
- (3) 建設地：英国・バークシャー州スラウ

(4) 施設規模：ストーカ式焼却炉：480,000 t/年、発電出力：49.9MW

(5) 運営期間：2024年7月～2049年6月

2. Brockwell Energy Ltd グループ向け

(1) 発注者：Earls Gate Energy Centre Ltd

(2) 最終需要家：Brockwell Energy Ltd

(3) 建設地：英国スコットランド・グランジマウス

(4) 施設規模：ストーカ式焼却炉：216,000 t/年、発電出力：22MW

(5) 運営期間：2023年12月～2048年11月